

## はじめに

本学の FD 活動は、2008（平成 20）年度の FD・自己点検委員会において始まり、昨年度は FD・点検評価委員会のもとで行っていた。しかし、今年度から点検・評価機能を自己・点検評価委員会が担うことになったため、新たに FD 委員会として取り組むことになった。本学は、これまで FD 活動として、授業評価・教育評価アンケート（2008（平成 20）年度～）、FD 講演会・研修会（2009（平成 21）年度～）、オープンクラス（2011（平成 23）年度～）などを実施し、授業内容や方法の改善に組織的に取り組んできた。今年度もこれまでの活動を引き継ぐ形で行った。主な実施内容は以下の通りである。

1. 「学生による授業評価アンケート」は、昨年度までのものから形式や内容を変更して実施した。新たに授業形態（講義、演習、実習、卒業研究）による質問項目を設け、授業形態の違いに対応できるようにした。また、個別指導が中心のために実施が困難であった「卒業研究」については、今年度から実施方法を工夫して行った。
2. 「大学院生による教育評価アンケート」については、昨年度と同様で大きな実施上の変更点はなかった。
3. 「FD 研修会」は、昨年度と同様に複数の研修会のうち、教員の興味や時間の都合により、いずれかに参加する形で、6月に3回実施した。
4. 「オープンクラス」については、昨年度と同様で大きな実施上の変更点はなかった。
5. 「全学 FD 教員研修会」は、昨年度までは学内教員のみでディスカッションを行っていたが、今年度は外部講師を招き、プレゼンテーション技術やファシリテーション・スキルについて学んだ。

今年度の FD 活動は主に昨年度を継承する形で行い、大きな変更点はあまりなかった。それは、現在の FD 活動が十分に機能し、教員の資質を向上し、授業を改善できていると委員会で認識しているからではない。すでに委員会では来年度に向けていくつかの変更を検討しているが、その内容は本報告書には反映されていない。また、本学の FD 活動の学外への発信も十分には行われておらず、改善が必要と思われる。本報告書をご覧いただき、本学の FD 活動に関してお気づきの点があれば、忌憚のない意見を頂戴できれば幸いである。

2015（平成 27）年 3 月

京都ノートルダム女子大学  
FD 委員会 委員長 廣瀬 直哉